

岡山市政ニュース No. 208 (通 216) 2004年5月2日

発行者 日本共産党岡山市議会議員団

岡山市大供1丁目1番1号(市議会内) 〒700-8544

電話 (086) 803-1000 内線 4370・4371

田畑賢司 崎本敏子 竹永光恵 藤沢和弥 稲葉泰子

第1面

新年度予算から見える新年度予算から見える 岡山市のまちづくり 不要・不急の大型事業 つぎつぎと計画

新年度予算で 市民の暮らしは

二〇〇四年度の予算は、税収不足に加え、国の三位一体改革で、地方交付税が大幅に削減された厳しいスタートです。岡山市への影響は、前年度比七三億円、一六・九%の大幅な減となりました。

しかし財政難といいながら、不要・不急の事業が次々と計画される一方で、弱者への福祉サービスは削られ、また下水道料金の値上げなど、市民負担でのりきろうという中味になっています。

また、今年度、三位一体改革の影響で、国庫補助が削減された公立保育所と市立養護老人ホームの運営の在り方が、岡山市総合政策審議会に諮問され、民間委託の方向が検討されます。

何でも民間委託でなく、子どもや高齢者の発達保障、人権保障の観点からの議論が必要です。税金の使い方を見直し、市民の暮らし・福祉・教育優先に切り替える事を求めています。

厳しい予算執行のもとでも市民の願いが実現しました

- ①乳幼児の医療費無料化四才未満まで拡大の方向
- ②学校給食に米粉パン導入
- ③高齢者生活用具給付事業見直しで電子レンジの導入



建設中の両備グレースマンション(野田屋1丁目・柳川交差点)

不要・不急の事業

岡山・庭瀬間新駅建設	約 8 億円
デジタルミュージアム	約 60 億円
水道記念館建設	約 1.8 億円
両備グレースマンションへの税金投入 (写真)	全工事通して約 20 億円

切り捨てられた弱者への市民サービス

高齢者祝い金	850 円→750 円
生活保護世帯夏・冬一時金	カット
生活保護世帯入浴券	週 3 枚から 2 枚に

市民負担増

下水道使用料金	一般家庭で月あたり 20 立方メートル 1,913 円→2,646 円
後楽館高校授業料	月 2,500 円→2,600 円
幼稚園授業料	月 5,900 円→6,100 円

ひと 「3・20 国際共同行動 in おかやま」で実行委員長

吉田 恵さん (33 才)

”世の中捨てたもんじゃない“ 一、〇〇〇人が世界の人と共同

「入居者から人間は一人一人にちがう人生があることや、生命の大切さをおしえられる毎日です。」と語る吉田恵さん (33 才) は介護職です。



「3・20 集会」の実行委員長をひきうけました。民医連の青年ジャンボリーで沖縄に行き平和運動の大切さを実感。思うだけでなく行動したいと考えた。実行委員長にと話があった時、友人に相談したら、「バリバリやる人でなく頼りない人がやるからいいんじゃないの」と言われて決心したとのこと。とりくんだ感想は、「世界の人と共同して一、〇〇〇人も人が集まった。世の中捨てたもんじゃない。」ときっぱり。みずみずしい感性と自然体のすてきな人です。不要・不急の大型事業

市民おきざりで突っ走る「法定協議会」

「岡山県南政令市構想（岡山市・御津町・灘崎町）合併協議会」の第一回会合が、四月十三日に開かれました。開会行事を含めて、一時間で終了。質問した委員はたったの三人。事務局提案が、「ハイ結構です」と通過していくのを傍聴しながら、岡山市の将来、これで大丈夫なのかと不安な協議会でした。

「合併特例法の日程では、六月議会で予算決定、八月には一市二町の合併調印九月議会で議決、十一月県議会で承認」との参考案が示され、それに異議も出ないシャンシャン協議会でした。

玉野市が離脱して後岡山市民には、一市二町の合併について何の説明もされていません。政令市構想が破綻した単なる合併のもとで、市民の暮らしや福祉がよくなる保障はありません。岡山市でも灘崎町でも、「合併反対の会」が立ち上がるなど運動が広がっています。

会議日程について

区分	協 議 会	開催場所
第1回	H16年4月13日	岡山市
第2回	H16年5月11日	御津町
第3回	H16年6月8日	灘崎町
第4回	H16年7月13日	未定
第5回	H16年8月10日	未定

◎ぜひ傍聴をお願いします。

ホームページ <http://okjcp.web.infoseek.co.jp/dn/> (4月からURLが変わりました)

メールアドレス kyoustantou_shigidan@city.okayama.okayama.jp

第2面

みなさん 一緒に運動しましょう

さい東町 公園用地代 1億円はどこに？

岡山市（公社）が約二億円で購入したさい東町公園の土地代は、約一億七千万円ですが地権者が入手したのは一億円以下であったことが田畑市議の質問で判明。市の示した「メリット計算表」に根拠のないことが明らかになりました。さい東町公園の土地代約一億円が「消えた」と市議会ですべて問題になっています。しかし萩原市長はその真相をひた隠しにしており、疑惑はふくらむばかりです。

さい東町公園メリット計算表

1. さい東公園買入価格 203,418,962 円
2. 市が直接工事を実施した場合公園造成、公園アクセス道、排水工、管渠工等

公園造成	1.679.0	平方メートル	8,447,000 円
木工	1.0	式	2,351,000 円
擁壁工	263.4	メートル	6,310,000 円
排水工	345.6	メートル	12,391,000 円
管渠工	14.0	メートル	3,321,100 円
舗装工	720.0	平方メートル	3,118,000 円
仮設工	68.0	メートル	1,885,100 円
本工事費計			37,823,100 円

3. 現況測量、丈量測量、設計、分筆、登記等 6,000,000 円
4. 水道埋設、外周フェンス等 1,000,000 円

市職員人件費 上記フローのとおり

5. 従前の価格 路線価格×74%程度で、49,200 円とする

49,200 円×（公園 2,798.06+アクセス道路 649.73） 169,631,268 円

*従って 1－（2+3+4+5）＝11,035,406 円



問題になっているさい東町公園用地

乳幼児医療 乳幼児医療費、四才未答申就学前にこだわって運動を

岡山市総合政策審議会は、子どもの医療費助成の無料対象年齢を四歳未満までに引き上げるという答申を市長に提出しました。安心して、子育てのできる医療費助成をと、強く要望し続けてきた運動が前進する見通しになりました。県内には、小学校に上がる前まで無料助成を行っている自治体が 32 あります。一歳引き上がったとしてもまだ、県下ワースト 1 のままです。岡山県は入院のみに限って、六歳未満まで助成（所得制限つき）を行うことを決めています。引き続き就学前までの完全医療費無料化と補助金の復元をめざして運動を広げていきましょう。

国保問題 いのちのパスポートを守れ！ 国保制度の改善を提案

市民の 43%の世帯が加入する国民健康保険制度は、市民のいのちのパスポートです。

加入者は年収 200 万円以下が約 74%で、経済的な困難のため収納率は 87・27%になっています。「払いたくても払えない」状況の中で、資格証明書や短期保険証の発行が増えています。そのことは徴収率向上には必ずしもつながっていないのが全国状況です。

日本共産党岡山市議団は、岡山民商、生健会、医療生協、民医連、保険医協会、市職員組合の皆さんと共に国保問題の改善の検討を重ね、市国保課を含めてシンポジウムを開催し、提案をまとめました。

提案では、保健、予防政策の充実をはじめ、市として新しい減免制度の創設などで「払える保険料」にして徴収率向上と制度存続を求めています。

国庫負担を 38%↓45%に復元すること、県補助金を 11%↓20%に復元すること、国保料の算定基準を応能負担方式にもどすことは、制度改善のために必要です。パンフレット「いのちのパスポートを守れ！」をお読み下さい。(申しこみは市議団まで)



国保問題でシンポジウムを開催
(2/28)

吉備病院 民間委譲へ？『売りわたし』NO！

岡山市立吉備病院は、高松・足守地域の方々にとっては、なくてはならない病院となっています。この間も、「吉備病院を考える会」をはじめ、地域の方々と、公立病院としての建てかえ・存続を求めて運動してきました。

しかし、病院内検討委員会は、民間委譲（土地・建物の売却）の方向でプロポーザル公募を実施し、八月末には、委譲する事業者を選定しようとしています。

公的責任で、20年、30年先を見通して、継続性・公共性が保障された医療を守る事がとめられます。

市は四月十五日から一ヵ月間、プロポーザル公募方針の素案に対して意見募集を行います。住民の声を届ける機会です。どんどん意見をあげてください。

「苦田ダム完成」で 市民に水道料金値上げ！？

下水道使用料金が、四月から38・6%値上げされました。

今年五月から苦田ダムの試験湛水が始まり、来年度から、ダムを水源とする受水の増加のため、岡山市は、九億二千万円の負担が増えます。

多額な税金でダムをつくり、いらぬ水の購入費のために市民の水道料金の値上げを押しつけるやり方は認められません。

6月議会日程

- 6月1日(火) 議会運営委員会
- 4日(金) 開会
- 8日(火) 請願・陳情締切
- 9日(水)～15日(火) 個人質問
- 16日(水) 常任委員会
- 17日(木) // (予備日)
- 21日(月) 閉会

編集後記

日本共産党岡山市議団は、二月議会における総務委員会での「審議打ち切り」動議、及び法定協議会設置議案の強行採決は、岡山市議会議規則に違反しており、無効であり、やり直しをすべきと議長に申し入れをしました。

国や県、岡山市でも市民の声や願いを無視する動きが広がっています。住民が主人公の政治実現のために頑張ります。